

平成 30 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	豊立会	代表者	鈴木 俊孝	法人・事業所の特徴	日々笑顔にあふれたアットホームな雰囲気施設の設です。通いであっても自宅へ送ったら支援が終わりではなく、24時間ご利用者の状況を把握して、必要な介護が出来るように支援しております。また、宿泊や訪問の支援も顔なじみの職員が支援しており、関係も深まり安心へと繋がっています。またご家族様と、情報を共有することでご利用者の最適な支援へと繋げ、季節に合わせたイベントや外出行事も多く、苑庭で栽培した野菜を収穫して食材にするなど楽しみのある施設となっています。ご利用者様からの意見を取り入れ、活動に活かし、一人ひとりに合わせた日常生活動作の向上が図れるように支援しております。朝の訪問支援や夕食を食べてからの送迎、急な宿泊の対応など可能な限り柔軟に対応して、独居の方の支援や、ご家族様の介護負担の軽減を図れるように努めております。
事業所名	まんぎきの家玲光苑	管理者	鈴木 俊孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	4人	人	2人	1人	1人	人	6人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	事業所評価、『次回までの改善計画』に関して、具体的にどのように取り組んでいったらよいか、また自己評価の低い項目について再度、共通の理解と自身の向上に繋がられるよう『できていない』とあげた項目について、職員間で話し合いを持ち、意見を出し合う。	スタッフが個別評価を行うことで各職員の持つ課題が明確になった。事業所自己評価であげられた全体としての課題については会議やミーティングを通じて共有することで『出来ていない』項目一つ一つを検証してサービスの質の向上に努めた。	・外部評価の「はい」「いいえ」「わからない」の基準がわかりづらい。	自己評価の中で多くの職員が「できていない」を選択した項目について、必要な勉強会の出席を積極的に進めると共に、会議等で職員全体で検討を重ね、サービス向上に向けて、さらに取り組んでいく。
B. 事業所の しつらえ・環境	平成29年度、開催の出来なかった、見学会や開放日の開催を行って行くことで、地域の人が足を運びやすく、風通しのよい施設となるよう環境を整えていく。	地域の方に参加していただけるイベントの開催ができなかったが、積極的に施設の環境美化活動を行うことで清潔感を保ち、ご家族や近隣の方が気持ちよく事業所へ入っていただける環境を整えることができた。	・他の施設は名前が道路から奥まった所にあるから見やすいが、まんぎきの家は道路から近い場所に書かれている為、わかりにくい。運転していても分かるものを付けて欲しい。 ・小学校では8時になったら門を閉めます。 ・会議の際しか施設には来ないので施設内の状況がわからない。	地域包括支援センターと連携して地域の困りごとを相談できるようなイベントを開催し、地域の方に気軽に訪問して頂けるような環境づくりに努める。
C. 事業所と地域の かかわり	今後も様々な機会を利用し、まんぎきの家玲光苑の情報発信を行って行く。また、地域との交流は継続し、より繋がりを深めていく。	広報誌を毎月発行して地域に配布することで事業所の様子を発信している。地域の行事にはご利用者様と職員共に積極的に参加することで馴染みの関係作りが出来ている。	・施設としては（地域住民から）見られた方が良いのか。ふらっとお茶を飲みに来てもいいのか。 ・「まんぎきの家」という名前では施設なのかわからない。「玲光苑」という名前でないとう地区の人達以外はわからないと思う。 ・家族以外の人も気軽に入れる工夫をして欲しい。	地域貢献を視野に入れながら、施設自らが地域資源となるよう専門性を活かした活動やイベント等を行い、地域との繋がりを深めていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	活動報告の他、『ちょっとしたお役立ち情報』などを掲載し、情報発信を行って行くと共に、地域に開かれた事業所として、地域との顔なじみの関係づくりのための取り組みとしてイベントや勉強会の実施を積極的に行っていく。	地域主催での行事には積極的に参加できたが、事業所主催のイベントや勉強会が実施出来なかった。地域との関係作りの一環として、本人が暮らしている地域に出向き買物支援などを行うことで施設と自宅の往復だけでない暮らしを支える支援が出来た。		施設周辺以外のご本人が暮らす地域でも活動報告の他、支援内容や活動について知って頂く努力を行う。地域のニーズにあった勉強会やイベントを実施していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議からでたご意見の他、普段の支援の中でのご利用者様やご家族様また事業所の悩みについて、個人情報に注意しながら会議を通してご意見をいただき、改善に努めていく。	運営推進会議を通し、地域の困りごと等について具体的なご意見はなく把握できなかった。	・地域で心配な方がいらしたら地域包括支援センターにご連絡下さい。まんぎきの家のスタッフや地域の方々と連携していきます。	運営推進会議で出たご意見を、支援や活動、施設運営に活かしていく。また地域との協働した取り組みを計画し、風通しの良い施設づくりに努めていく
F. 事業所の 防災・災害対策	今後も地域の中の事業所として、地域の防災の1拠点としての役割を担う。運営推進会議のプログラムの1つとして、委員参加のもと施設の消防訓練を実施する。	運営推進会議の中で法定基準の消防訓練を実施することが出来た。各委員や近隣の方にも訓練へ参加していただくことで、入居者様の状況や施設の様子も確認して頂けた。	・まんぎきの施設の耐震は大丈夫ですか。指定の避難場所になっているのか。 ・八生小学校の体育館が指定避難場所になっているが、トイレが高齢者が利用するには厳しいと思います。 ・指定避難場所へ集まる前に施設で一時受け入れをしていただけると助かります。	地域の中の事業所として、地域の防災の1拠点としての役割を担う。運営推進会議のプログラムの1つとして、委員参加のもと、より多くの地域の方の参加を呼びかけ、施設の消防訓練を実施する。

